

癌化学療法 投与計画書

病名: 再発難治性多発性骨髄腫

プロトコール名: DBd療法(9サイクル以降)

クール目	身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
開始日			
次回予定日			

確認事項

2回目以降のダラザレックスの希釈液は、初回開始時から3時間以内にInfusion reactionが認められなかった場合、500mLにしてよい
 3回目以降のダラザレックスの投与時速度は、忍容性良好であれば100mL/hから開始可

※0.2μmのフィルターを使用すること

	薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	DAY 1	標準投与量
							1月 0日	
1	ソルデム3輸液		500mL	点滴	3時間		○	
2	生理食塩液		100mL	側管	1時間		○	
	デキサート(6.6mg)		3瓶	側管			○	
3	レスタミンコーワ錠(10mg)		3錠	経口			○	
	カロナール錠(200mg)		4錠	経口			○	
4	生理食塩液		50mL	側管		前後フラッシュ用	○	
5	生理食塩液		初回1000mL、 2回目以降500mL	側管	初回 50ml/h(1H)→ 100ml/h(1H)→ 150ml/h(1H)→ 200ml/h	単独で	○	ダラザレックス
	ダラザレックス	16mg/kg		側管	3回目以降 100ml/h(1H)→ 150ml/h(1H)→ 200ml/h		○	mg
6	生理食塩液		50mL	側管		前後フラッシュ用	○	

1サイクル: 28日
 投与日: ダラザレックス day1